



PPG の押出形材用塗料グループ、10 万色目の カスタムカラーを製造

2004 年 10 月 26 日

【米国ペンシルベニア州スプリングデール、2004 年 10 月 26 日 (ビジネスワイヤ)】

PPG 工業用塗料部のカラーサービスチームは、「UC100000 ポリクロン® III ハープページュ」で、10 万色目のカスタムカラー製造という大きな節目を迎えた。

PPG は、過去 30 年間以上にわたって、カスタムカラーの塗料をコイル鋼板やアルミ押出形材のメーカーに供給してきた。

「30 年にわたる調色の実績を持つ PPG は、作業の効率を大幅に改善しました。かつて樹脂や溶剤による顔料分散は手作業でしたが、その後、PPG 独自の Kaleidoscope™ ディスペンシングセル技術を使った自動化作業へと進化したのです。」こう語るのは PPG のカラーサービスマネージャーであるシェリー・スターデヴァントだ。

PPG のカラーサービスチームは、世界のコイル鋼板やアルミ押出形材のメーカー向けに自動化されたディスペンシング (分注) や調色を行っている。それぞれの顧客のために作製されたカラーには、固有の製品コードが付され、識別と製造のために用いられている。例えば、今回 10 万色目となった「UC100000 ポリクロン® III ハープページュ」といった具合だ。今回の調色は、PPG の顧客である EPCO Extrusion Painting Co. (米国オハイオ州ボードマン) という押出形材関連会社のために実施された。

「PPG の世界全土にあるコーティング製造施設への調色仕様の伝達体制も大幅に改善されました」とスターデヴァントは語る。PPG のカラーサービスチームは、カラーのデータベースを管理、活用し、PPG の 10ヶ所の製造拠点と 50 社以上の顧客が、正確なカラー仕様をインターネット経由で利用できるようにしている。「整合性のあるデータを使用することで、バッチ間のカラー精度や再現性を最高レベルに維持できるようになっています」とスターデヴァントは説明する。

今日の建材製品市場において、色彩の好みは多様化している。「PPG は、古典的なアースカラーであるホワイトやベージュ、大胆な色合いであるグリーン、ブルーやレッド、そしてシルバー、シャンパンやブロンズ色を含むマイカ系、メタリック系カラーのようなエキゾチックな世界までをカバーし、各種カスタムカラーや 65,000 種類を超える既存色を提供し、現代建築に活用していただいています」とスターデヴァントは語った。

PPG の高性能コイル用塗料や押出型材用塗料である Duranar®(デュラナー)や Megaflon®(メガフロン)、Corafon®(コラフロン)シリーズの一部製品、そして Acrynar®(アクリナー)FX には、PPG が独自に開発した樹脂技術や顔料技術が結集されている。PPG のカスタムカラーは、全世界の有名な建造物に用いられており、シェイ・スタジアム(米国ニューヨーク市)、香港上海銀行ビル(中国香港)やロックンロール・ホール・オブ・フェイム(米国クリーブランド)が、その一例である。

ピーページ・インダストリーズ(本社:ピッツバーグ)の工業用塗料部門は、ペンシルベニア州スプリングデール近郊にある。同社は、建築用塗料、工業用塗料、自動車用塗料、そして、化学品、ガラス、ガラス繊維のメーカーとして、世界的なリーディングカンパニーであり、全世界のさまざまな業種の企業に製品を供給している。売上高は 88 億米ドル(約 9,700 億円)。

お問い合わせ先:

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-15-1

渋谷クロスタワー13階

PPGジャパン(株)

工業用塗料部

TEL 03-3476-7015

FAX 03-5778-2557

大阪営業所: 06-6376-3161

E-mail: sales_japan@ppg.com

ホームページ: <http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustrialCoatings/Japan>